

(様式 1-3)

普代村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 28 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	14	事業名	海産物直売施設整備事業	事業番号	◆C-7-1-3
交付団体	普代村	事業実施主体 (直接/間接)	普代村(直接)		
総交付対象事業費	39,883 (千円)	全体事業費	39,883 (千円)		
事業概要					
<p>震災により全壊した太田名部レストハウス(売店)を移転整備し、水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR促進・販路拡大事業を行うとともに、震災により激減した観光客の増加と地域経済の復興及び活性化を図る。</p> <p>なお、当該地区は、普代元村地区を津波から守った普代水門、観光地である普代浜に隣接していることから観光客の集客が大いに期待されている場所である。</p> <p>なお、当該事業は「普代村災害復興計画」P13、P18に以下のとおり記載されているところ。</p> <p>【復興に向けての施策】P13</p> <p>③各種支援策の推進による水産加工業者の再建 >水産加工業、流通・販売業等の経営再建支援</p> <p>【復興に向けての施策】P18</p> <p>③震災復興事業などPR活動を強化し、集客力を向上 >津波を克服した「安全・あんしん普代」のPR</p>					
当面の事業概要					
<平成 28 年度> 実施設計、建設工事					
東日本大震災の被害との関係					
<p>太田名部レストハウスは、太田名部漁港に立地していたため、多くの漁港関連施設とともに甚大な被害を受けた。当該施設は全壊したが、被災直後から仮施設にて食堂部分は営業を再開しているものの、売店部分については未だ復旧していない現状である。</p> <p>本格的な水産業の復興に向け、水産業共同利用施設等で生産した海産物等の販路拡大・販売促進に繋がる事業を展開するため、海産物直売所の復旧が必要不可欠である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	C-7-1				
事業名	共同利用施設復興整備事業				
交付団体	普代村				
基幹事業との関連性					
<p>水産業共同利用施設復興整備事業で整備した施設で生産した海産物等のPR活動や販売を行うことで、販路拡大や販売の促進に大きな効果が見込まれる。このための事業を展開するための施設の整備を行う。</p>					